

様式第 3

会 議 録（公開部分）

会 議 名	平成 3 0 年度 自立支援・障がい者差別解消支援地域協議会 第 3 回（専門部会）就労支援部会
議題及び議題毎の 公開又は非公開の 別	議題 1 各事業所の課題について意見交換
日 時	平成 3 1 年 2 月 2 8 日（木） 午後 3 時から午後 5 時まで
場 所	市役所高層棟 5 階 5 1 2 会議室
出 席 委 員	部会長 柄澤 隆一 副部会長 鳥羽 敬俣 委 員 日向 直子 委 員 藤澤 洋一 委 員 藤井 周 委 員 野村 祐一 委 員 岡田 莉保 委 員 池田 実代 委 員 金城 和子
欠 席 委 員	委 員 永田 洋 委 員 田中 徳寿
事 務 局	齋藤 剛（障がい者支援課相談支援係長） 佐田 徹（障がい者支援課相談支援係主任主事） 伊藤亜有美（障がい者支援課相談支援係主任主事）
傍 聴 者	無し
議 事	平成 3 0 年度自立支援・障がい者差別解消支援地域協議会第 3 回専門部会（就労支援部会）の会議結果（概要）は、次のとおりである。
柄澤部会長	1 開会 平成 3 1 年 2 月 2 8 日午後 3 時、開会した。会議録作成のため 録音機を使用することの了解を得た。永田委員、田中委員が欠 席することを報告 2 議題 議題 1 各事業所の課題について意見交換 前回の部会では工賃が話題になったが、その後工賃が大きく動 いた事業所はあるか。

鳥羽委員	工賃については、千葉県振興センターから話があった。今年度の報酬改定で給付費が工賃で決められることになったが、それに伴う問題については千葉県も認識していて、厚生労働省に意見しているとのことだった。千葉県としてはとにかく仕事を増やしたいとのことで、実際に振興センターから仕事を頂いた。川間の駐車場を清掃する仕事で、月1回4千円、駐車場が3か所なので合計1万2千円になった。仕事がないわけではないので、一般の企業が障がい者施設に仕事を下ろすことで具体的なメリットがあればもっと工賃が上がるのではないかな。
柄澤部会長	一般企業では障がい者施設に仕事を回す具体的なメリットが少ない。昔の場合、企業は単価の安さを理由に障がい者施設に仕事を発注することが多かったが、最近だとどうか。工賃は上がってきているか。
池田委員	地域活動支援センターのぞみでは、単価はあまり意識していない。利用者によってレベルが違う中で、全員ができる仕事を重視しており、単価は高ければ良いという程度で考えている。以前、貯金箱を作る仕事をしたが、全員ができる仕事で皆やる気があった。このような仕事をもっと受注したい。
日向委員	あすなろ職業指導所では、せんべいの箱折りをやっている。難易度によって工賃が違い、高いものは1セット17円、安いものは8円になっている。もともと高めの工賃で受注しており、単価自体は上昇していない。
鳥羽委員	池田委員もおっしゃっていたが、高めの仕事を受注すると、作業できる利用者とできない利用者が出てくるとというのが問題になる。
柄澤部会長	以前、柏の事業所が言っていた。事業所を運営していくために一定以上の工賃は払いたい。そのために利用者を増やしていきたいが、一定の作業ができる利用者を確保するのが大変だと。
野村委員	野田市心身障がい者福祉作業所では、自主事業と下請けで半々の割合でやっているが、下請けで単価が高い仕事は現状見つからない。下請けもメリットとデメリットがあり、一気に受注したら自主事業ができない。しかし断ったら仕事なくなる可能性がある。その管理が難しい。
藤井委員	企業側でも社会貢献を求められていることもあって、野田特別支援学校でも企業からの声は増えている。障がい者雇用が広がっているのは間違いないと思うが、企業側が求める生徒のレベ

	ルが上がっている傾向にある。
柄澤部会長	企業側が求める従業員のレベルが上がっているのは障害者就業・生活支援センターでも感じる。以前は、とりあえず職場に来てくれればよいという企業が多かったが、最近では一定の水準の従業員を求める企業が増えている。昔、会社側の検品を前提とした安い単価の仕事を受注したが、その後ミスなくきちんと仕事をやった結果、検品が不要とされ単価が高くなったことがあった。このように、全体のスキルを上げて工賃を高くしていくか、それとも福祉的要素を重視して工賃が安いまましていくか、事業所で選択が必要になってきている。
池田委員	当事業所では不良品を出さないことを一番重視していて、検品はスタッフや技能が高い利用者でやっている。ただ、検品をしている利用者の中で工賃を上げてほしいという話は出ていない。平成24年の工賃を調べたら、今と変わっていなかった。工賃を高くするよりは、現状維持を求める気持ちが利用者にあると思う。
柄澤部会長	話は変わるが、特別支援学校と一般の学校との連携について藤井委員に伺いたい。現在、特別支援学校では関宿高等学校に対して支援を行っていると聞いているが、市内の他の一般学校に対しても同様に支援を行っているか。一般の高等学校に在学している生徒が相談に来ることがあるので、確認したい。
藤井委員	千葉県立の学校であれば、関宿高等学校以外も支援している。2年ほど前から各学校と情報共有を行っている。
柄澤部会長	高等学校によっては、障がい者手帳を持っている生徒が複数いる場合があるが、学校の進路担当がその学校の立場から考えているので、障がい福祉分野との連携が取りにくい。このような埋もれた事例について、本人と保護者にどう情報提供していくかというのが今後の課題と考えている。 3 閉会 その他は特に意見がなかったため、午後5時、閉会を宣言した。